

学校だより



教育は愛



令和6年6月28日発行

さいたま市立本太小学校

Tel 048-882-3007

<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>

e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕 (ちば ひろし)

7月に入りました。新しい学年で学び始めて3ヶ月、子どもたちは、日々目覚ましい成長を見せてくれています。6年生のリーダーシップや1年生の元気に、明るく学校生活を楽しむ姿をはじめ、各学年では順調に成長の歩みを進めています。これも保護者・地域の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。学期は、ひとつの節目です。子どもたちの成長によい節をつくれるよう1学期のまとめに、全力で取り組んでまいります。今月も宜しくお願い致します。



◆ 図書ボランティアの皆様へ感謝！

6月20日(木)に「あじさい読書まつり」が行われ、図書ボランティアの皆様によるパネルシアターが開催されました。子どもたちは、大喜びで物語の世界に浸っていました。本校の子どもたちは、読書が大好きです。その意欲を力強く支えてくださっているのが、図書ボランティアの皆様です。

心より感謝申し上げます。

本は生涯の友となります。齋藤孝氏の著書『何のために本を読むのか』の中に『たとえ人生があと一日しかないとしても、今日、教養を深めたい』と思うのが人間らしい生き方ではないでしょうか』という一節があります。読書は、知的刺激であり、人生に推進力を与えてくれます。本太小学校では、これからも読書好きな子どもたちの育成に積極的に取り組んでまいります。



◆ さいたま MY SCHOOL ファンド！

昨年度より導入された制度です。ふるさと納税の一種で、学校を指定してご寄付いただける制度です。本校には、地域の方やPTA(父母と先生の会)より過分なご寄付を頂戴しております。このご寄付は、今まで

購入できなかった備品や学校の安全度を向上させるための備品などに有効活用させていただきます。ご寄付いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

さいたま市/投資先はミライ~さいたま MY SCHOOL ファンド~

<https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/008/006/p097057.html>



◆ 個性を重視し、未来への夢を育む

1998年の中央教育審議会の資料を読む機会があり、その中の一節を興味深くメモしました。家庭教育の在り方を考える章の「子どもの個性を大切にし、未来への夢を持たせよう」という箇所です。中教審は、家庭教育で必要なことを3点指摘しています。

「平均値や相対的な順位にとらわれることをやめよう」、「子どものよいところをほめて伸ばそう」、「人間としての生き方やこれからの社会について子どもに語りかけ、子どもの将来の夢と希望を聞こう」の3つです。子どもたちには、皆、その子にしかない「よさ」があり「得意」があります。それをしっかりと見出し、誉めて、伸ばすこと。将来に向けて夢や希望を語り合うこと。

これら3つのことを日常的に行うことによって子どもたちは、自信を持てるのです。そして、自分の人生の主人公として、胸を張って前へ進めるのではないのでしょうか。

何といたっても子どもたちの勇気の源は大好きなご家族の皆さんにあります。家庭教育こそ、教育の要諦であり原点です。

◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」~すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために~